

注目!

## ● 大学のラーニング・コモンズ整備・活用状況



56%

### 主体的・対話的な学修の 支援環境整備進む

大学では、グループワークやディスカッションなどを行う場としてラーニング・コモンズ整備や、能動的学修を効果的にカリキュラムに組み込むための検討(66.3%の大学で実施※)など、深い学びのための学修環境の整備が進んでおり、学生にも主体性の発揮が求められる。



文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」(平成26年度)  
※本文中の数値も同調査結果より